

表10 指標一覧

評価項目	指標・データ ●: 代表的指標	単位	定義・算出
組織基礎情報	人員(本報告書対象人員)	人	教職員・院生・学部生を含む全構成員 ただし、構成員一人当たり原単位を算出するに当たって 出席率・出勤率等は考慮していない
組織基礎情報	建物床面積(本報告書対象床面積)	m ²	
温室効果ガス	● 二酸化炭素排出量 ● 総排出量 ● 排出原単位(構成員・床面積当たり)	t-CO ₂	電気・ガス・油類使用量及び焼却炉における焼却量(病院及び 環境保全センター)に二酸化炭素換算係数を乗じて算出 二酸化炭素換算係数は、「地球温暖化対策の推進に関する 法律」に基づく(表A)
エネルギー	● エネルギー総使用量 ● 総使用量 ● 使用原単位(構成員・床面積当たり)	MJ	電気・ガス・油類・自然エネルギー使用量に一次エネルギー 換算係数を乗じて算出 ● 一次エネルギー換算係数は、「エネルギー使用の合理化に 関する法律」に基づく(表B)
	電気使用量	kWh	料金請求量
	都市ガス使用量	Nm ³	料金請求量
	液化天然ガス、液化石油ガス使用量	kg	料金請求量
	油類(灯油、A重油)使用量	L	料金請求量
	太陽光発電量	kWh	実測値
紙	● コピー用紙使用量 ● 総使用量/枚数 ● 使用原単位(構成員当たり)	t	京都大学で一括購入した量(ただし、各部 局で購入した量は含んでいない) 購入しても使用しない場合もあり、(購入量) = (使用量)ではない ● A4 1枚3.99gで換算
水	● 水使用量 ● 総使用量 ● 使用原単位(構成員・床面積当たり)	m ³	実測値
地下水	地下水くみあげ量	m ³	実測値
グリーン調達	グリーン調達品目 調達率	品目数 %	グリーン購入法に基づく特定調達物品等のうち、 基準を満足する物品等の調達量を調達総量で除した値
生活系廃棄物	● 生活系廃棄物排出量 ● 総排出量 ● 排出原単位(構成員・床面積当たり)	t	● 紙、大型ごみ、その他…事業系一般廃棄物 ● プラスチック屑、ガラス、陶磁器屑、金属屑、 蛍光灯、電池、その他…普通産業廃棄物
	事業系一般廃棄物	t	回収運搬業者からの報告量
	普通産業廃棄物排出量	t	回収運搬業者からの報告量
	家電・パソコンリサイクル量	台	「特定家庭用機器再商品化法」[資源の有効な利用の促進に 関する法律]に基づき処分した量
化学物質	● 化学物質(PRTR対象)の排出・移動・処理量	L	PRTR排出量等算出マニュアル(経済産業省・環境省)等に 基づき算出した値
実験系/特別管理廃棄物	● 実験系/特別管理産業廃棄物等排出量 ● 総排出量 ● 排出原単位(構成員・床面積当たり)	t	● 廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥、感染性※、廃石綿※、 その他…実験系廃棄物(特別管理産業廃棄物+ 普通産業廃棄物)(※特管のみ)
	感染性産業廃棄物	t	実測値
	有機廃液処理施設、無機廃液処理施設処理量	L	実測値
	PCB保管量	個	実測値
大気汚染物質	● NO _x 、SO _x 、ばいじんの排出量	kg	(SO _x 排出量) = (燃料の使用重量) × (燃料の硫黄成分割合) × 64/32 (NO _x 排出量) = (排ガス量) × (NO _x 測定値) × 30/22.4 (ばいじん排出量) = (排ガス量) × (ばいじん測定値)
	NO _x 、SO _x 、ばいじん濃度測定値	—	実測値
	大気汚染物質基準超過一覧	件数 内容	—
排水汚染物質	排水量	m ³	下水道賦課量
	排水水質測定値	—	実測値
	排水水質基準超過一覧	件数 内容	—

表11 二酸化炭素換算係数

	排出係数 (kg-CO ₂ /MJ)	単位発熱量	CO ₂ 換算係数
購入電力	—	—	0.555 (kg-CO ₂ /kWh)
化石燃料	灯油	0.0185	36.7 (MJ/L) 2.49 (kg-CO ₂ /L)
	A重油	0.0189	39.1 (MJ/L) 2.71 (kg-CO ₂ /L)
	都市ガス	0.0138	45 (MJ/Nm ³) 2.28 (kg-CO ₂ /Nm ³)
	液化天然ガス(LNG)	0.0135	54.5 (MJ/kg) 2.698 (kg-CO ₂ /kg)
	液化石油ガス(LPG)	0.0163	50.2 (MJ/kg) 3.000 (kg-CO ₂ /kg)
	ガンリン	0.0183	34.6 (MJ/L) 2.32 (kg-CO ₂ /L)
	軽油	0.0187	38.2 (MJ/L) 2.62 (kg-CO ₂ /L)
廃棄物(廃プラ)	—	—	2690 (kg-CO ₂ /t)

出典:特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令

表12 一次エネルギー換算係数

	単位	単位発熱量(B)	
総エネルギー投入量	購入電力	kWh 9.97 (MJ/kWh)	
	化石燃料	灯油	L 36.7 (MJ/l)
		A重油	L 39.1 (MJ/l)
		都市ガス	Nm ³ 45 (MJ/Nm ³)
		液化天然ガス(LNG)	kg 54.5 (MJ/kg)
		液化石油ガス(LPG)	kg 50.2 (MJ/kg)
		ガンリン	L 34.6 (MJ/l)
	新エネルギー	軽油	L 38.2 (MJ/l)
		太陽光	kWh 3.6 (MJ/kWh)
		太陽熱	kWh 3.6 (MJ/kWh)
風力		kWh 3.6 (MJ/kWh)	
水力	kWh 3.6 (MJ/kWh)		
燃料電池	kWh 3.6 (MJ/kWh)		
廃棄物	kWh 3.6 (MJ/kWh)		

出典:エネルギー使用の合理化
に関する法律施行規則
別表第一

○都市ガスは大阪ガス公表発
熱量

○新エネルギーに関しては、
「一次エネルギー」=「最終
エネルギー消費」とし、電力
二次エネルギー値を採用

京都大学環境報告書ワーキンググループについて

設置:2006年12月 代表:大高幸一郎 環境安全保健機構長
委員(50音順):浅利美鈴(環境保全センター助教)、井崎宏子(京都大学生協)、板橋
佳代(工学研究科職員)、酒井伸一(環境保全センター教授)、戸松浩(環境安全衛生
部職員)、中植由里子(秘書・広報室職員)、中尾聡(環境安全衛生部職員)、中川浩行

(環境保全センター准教授)、西村康久(環境安全衛生部職員)、平井康宏(環境保全
センター准教授)、藤原彬(環境安全衛生部職員)、新出哲郎(施設環境部職員)
京都大学環境報告書も2年目を迎えました。作成の中心となったのが京都大学環
境報告書ワーキンググループです。昨年の経験を踏まえたうえで、京都大学の環境配
慮活動をわかりやすく表現するために議論を重ねました。読者の皆様のご意見を添付
アンケートでお聞かせいただければ幸いです。